

タンク建設進捗状況

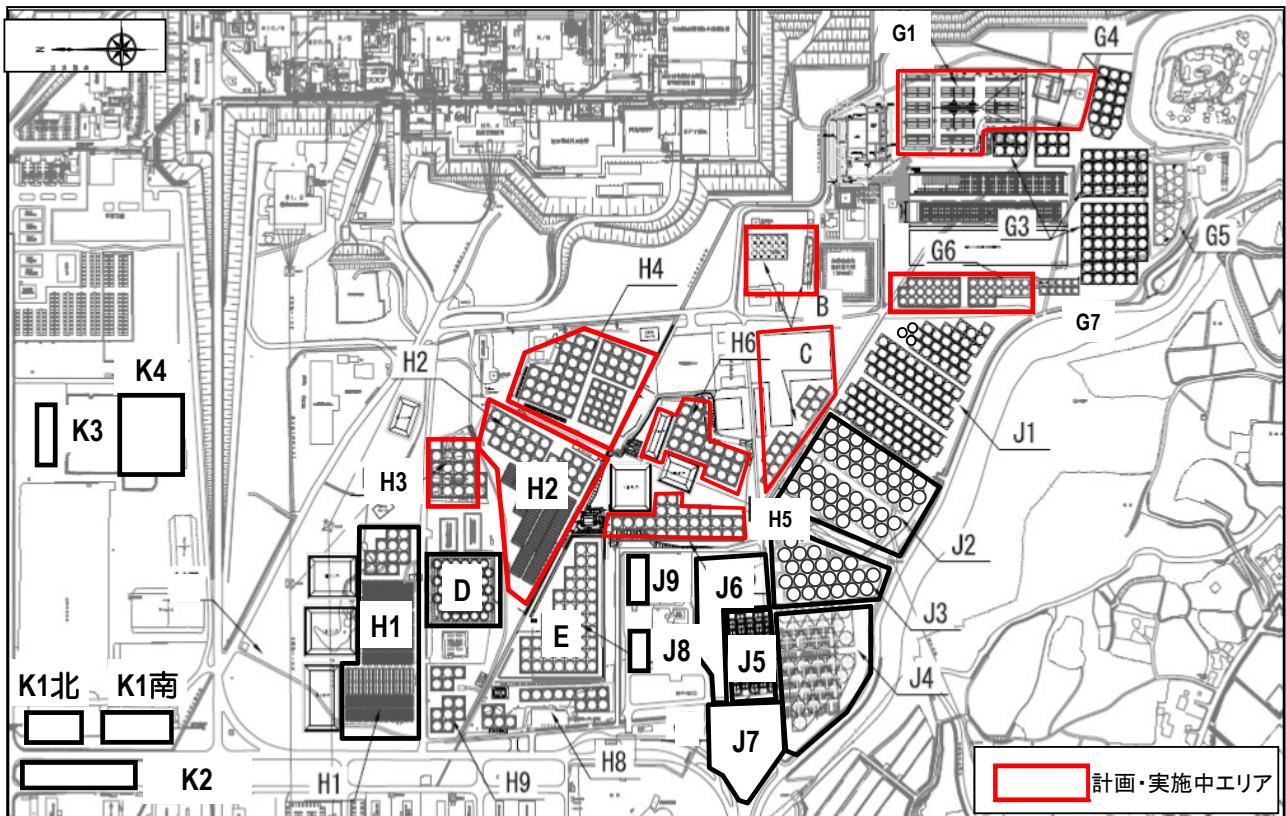
2017年5月25日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. タンクエリア図



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2-1. タンク工程

		2017年度												2018年度									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降			
リプレースタンク	H2ブルータンクエリア 現地増設型	3月16日進捗見込 (概略)	12.0	12.0	9.8	9.8	4.8	4.8															
		タンク																					
		基数	5	5	4	4	2	2															
	H4エリア 完成型	4月20日進捗見込 (概略)	12.0	12.0	9.8	9.8	4.8	4.8	7.2	4.8	2.4												
		タンク																					
		基数	5	5	4	4	2	2	3	2	1												
	Oエリア 完成型	3月16日進捗見込 (概略)	残水・撤去 4.8	地盤改良・基礎設置 9.8	13.6	13.6	12.4																
		タンク																					
		基数	4	8	12	12	11																
	Bフランチタンクエリア 完成型	4月20日進捗見込 (概略)		4.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	4.8	4.8	3.0	4.0	3.6	3.0	7.0	7.0	3.0	3.0	8.0			
タンク																							
基数		4	9	9	9	9	9	4	4		3	4	3	3	7	7	3	3	8				
H3フランチタンクエリア 現地増設型	4月20日進捗見込 (概略)																						
	タンク																						
	基数																						
H6,6フランチタンクエリア 現地増設型	4月20日進捗見込 (概略)																						
	タンク																						
	基数																						
G6フランチタンクエリア 完成型	4月20日進捗見込 (概略)																						
	タンク																						
	基数																						
G1タンクエリア 完成型	4月20日進捗見込 (概略)																						
	タンク																						
	基数																						

単位：千m³

2-2. タンク工程（容量）

タンクリプレースによる建設計画容量は以下の通り。タンク建設の目標として、過去の実績等を基に当面の間、目標値：約500m³/日*1として設定する。
 想定で見込んである最大約400m³/日の地下水他流入量以上のタンク容量を確保することが可能である。

単位：千m³

タンクリプレース計画	2017年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4月												
	12	16.8	19.4	18.4	13.6	14.4	12	18.6	13.4	13	7	8.6	331.2 以上
	2018年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降						
	4月	6	15	24	21	17	60以上						

	総容量	1日当たりの平均容量
2016.11～2020.12 タンク建設目標値 (2016.11～2017.3 の建設実績値 約6.2万m ³)	約550,000m ³ *1	約500m ³ /日*1 (フランチタンク水抜きまで)
2017.4～2018.9 タンク建設計画値*2	約271,200m ³	約500m ³ /日
2017.4 タンク建設実績値	約12,000m ³	約400m ³ /日

*1 目標値の約500m³/日は、月単位の目標ではなく、年単位で評価。フランチタンクの水抜き後は地下水流入量の低減に合わせ再設定していく。
 *2 建設計画は目標値の達成に向けて適宜現地の状況等に応じて見直しを図りながら実施する。

2-3. タンク建設進捗状況

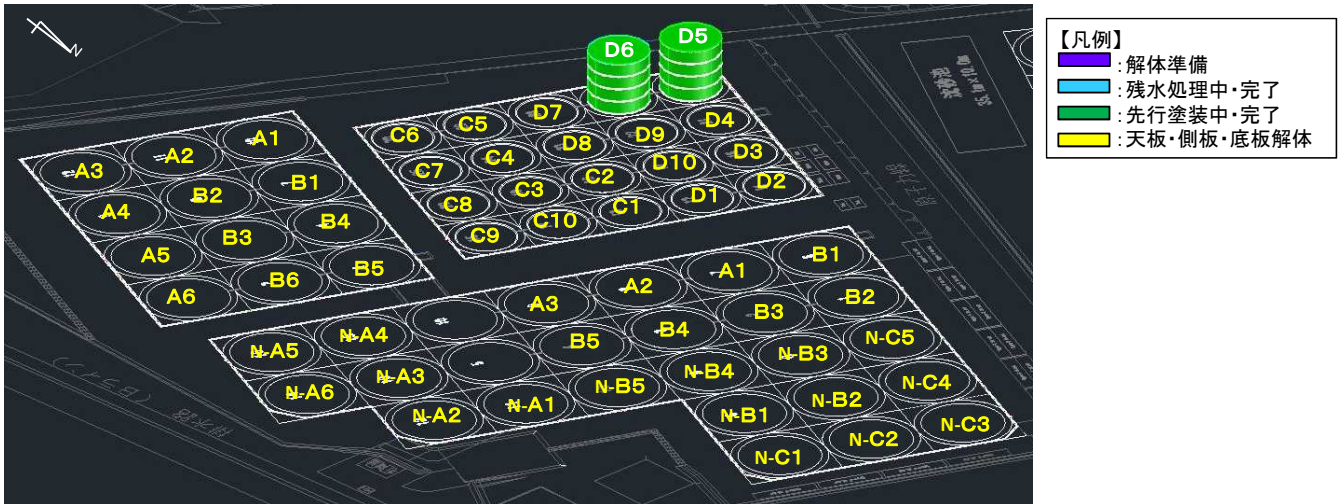
エリア	全体状況
H2	2015/5/27フランジタンク解体着手。2015/10/1ブルータンク撤去認可。2016/3/11フランジタンク全28基撤去完了。地盤改良・基礎構築は完了。タンク設置中。 昨年の降雨により基礎コンクリート打設が遅延（2週間程度）、台風・降雨により溶接作業が遅延（3週間程度）。また1月作業用クレーンの過巻きによりクレーンが損傷したことから、一時作業中断（2週間程度）。これらの遅延等による建設の遅れを取り戻すため、リブレース計画を見直し。当初のリブレース計画に比べ、2017年7月までに3基分をリカバリーする予定。なお、2017年9月までの設置数としては当初のリブレース計画から2基程度遅れる予定。
H4	2016/1/21フランジタンクの解体作業着手（2015/12/14フランジタンク解体認可）。 現在、フランジタンク撤去、基礎コンクリート撤去、汚染土壌撤去、地盤改良・基礎構築を実施中。 同一エリアにおいて、リブレース効率化による拡張可能な範囲のタンク増容量を反映。（+約43,000m ³ 予定）5月より、タンク設置（工場完成型）予定。
B	2017/1/30フランジタンクの解体作業着手。
C	フランジタンクの解体作業着手（準備作業含む）
H3	フランジタンクの解体作業着手（準備作業含む）
H5, H6	2017/1/23H5エリアフランジタンクの解体作業着手。 2017/3/28地下貯水槽No.5（H6北の北側）撤去作業着手。
G6	フランジタンク Sr 処理水 処理実施中
G1	敷地造成作業準備中 鋼製横置きタンク RO処理水 処理実施中

2-4. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
H2	リブレースタンク44基分 ・2016/7/4 実施計画変更認可
H4	H4北エリア リブレースタンク35基分 ・2017/2/7 実施計画変更申請 H4南エリア リブレースタンク51基分 ・2017/4/14 実施計画変更申請
B	タンク解体分 ・2016/12/8 実施計画変更認可
C	リブレースタンク分 ・実施計画変更申請準備中
H3	タンク解体分 ・2016/12/8 実施計画変更認可
H5, H6	タンク解体分 ・2016/12/8 実施計画変更認可 地下貯水槽No.5撤去分 ・2017/3/17 実施計画変更認可
G6	タンク解体分 ・2017/3/24 実施計画変更申請
G1	モバイル型ストロンチウム除去装置、ブルータンク移設分 ・2017/3/17 実施計画変更認可 タンク撤去分 ・2017/5/8 実施計画変更申請

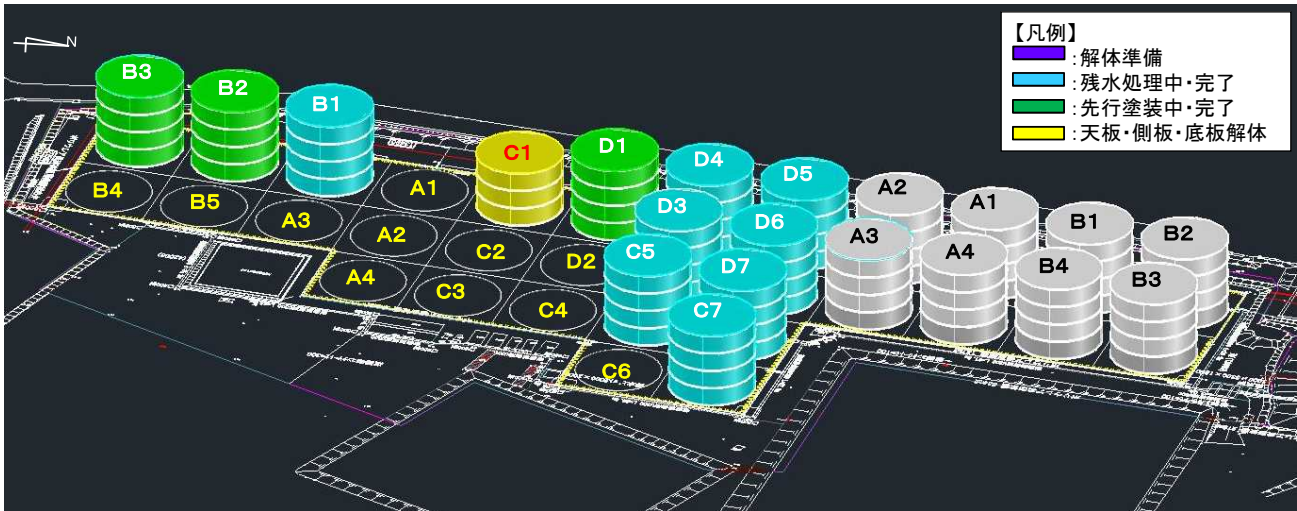
着手済み：56/56基

解体準備中 (歩廊・集塵機設置 他)	0基		天板・側板・底板 解体	0基	
残水処理中・完了	0基		解体完了	54基	(H4東)全基完了 (H4北)全基完了 (H4)C1~10,D1~4,D7~10
先行塗装中・完了	2基	(H4)D5・6			

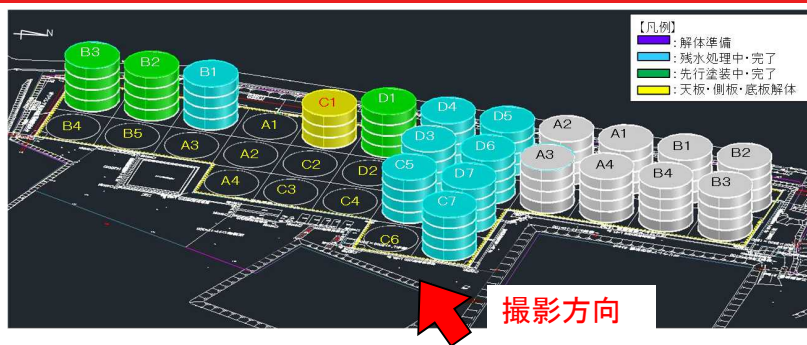


着手済み：23/31基

解体準備中 (歩廊・集塵機設置 他)	0基		天板・側板・底板解体	1基	C1
残水処理中・完了	8基	B1,C5・7,D3~7	解体完了	11基	A1~4,B4・5,C2~4・6,D2
先行塗装中・完了	3基	B2・3,D1			



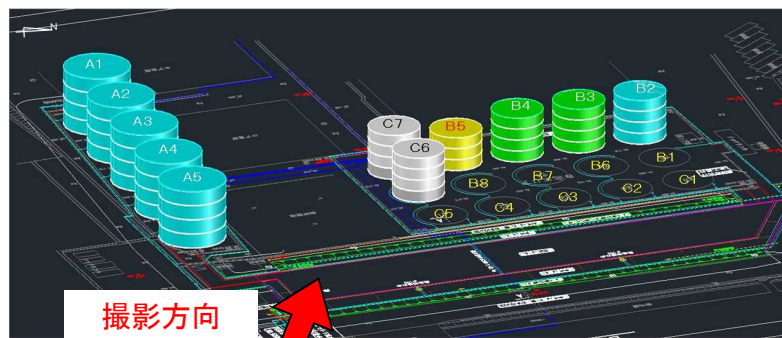
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



2017.5.9の定点写真

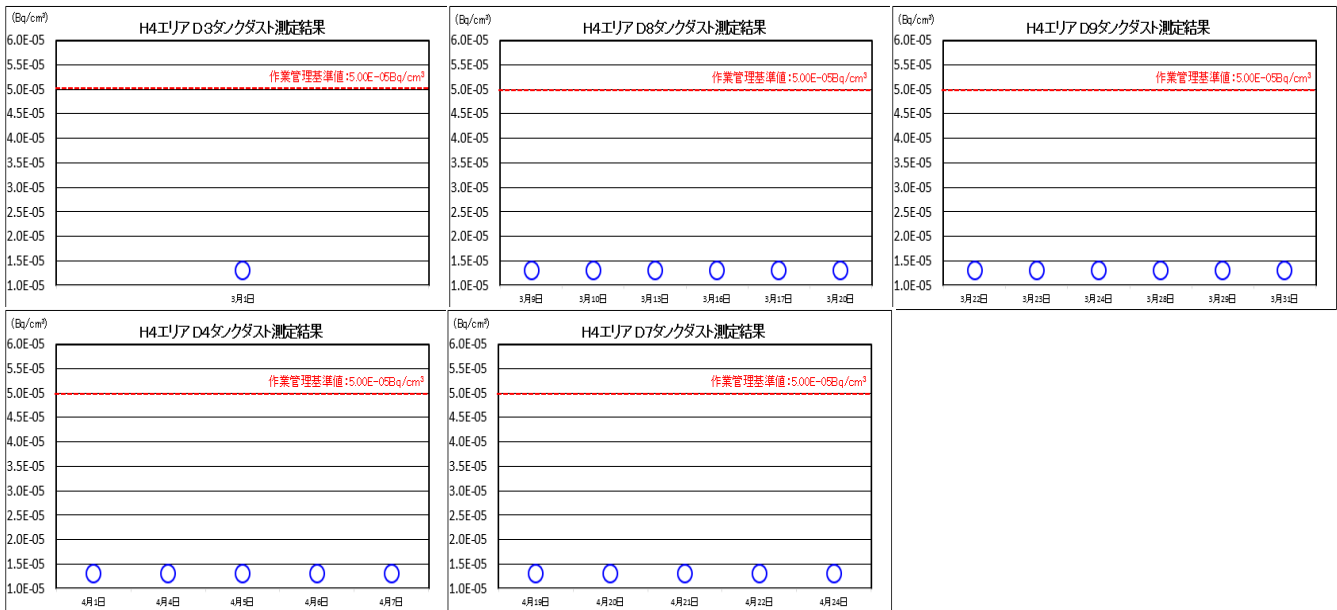
着手済み：18／20基

解体準備中 (歩廊・集塵機設置 他)	0基		天板・側板・底板解体	1基	B5
残水処理中・完了	6基	B2,A1～A5	解体完了	9基	B1・6～8,C1～5
先行塗装中・完了	2基	B3・4			

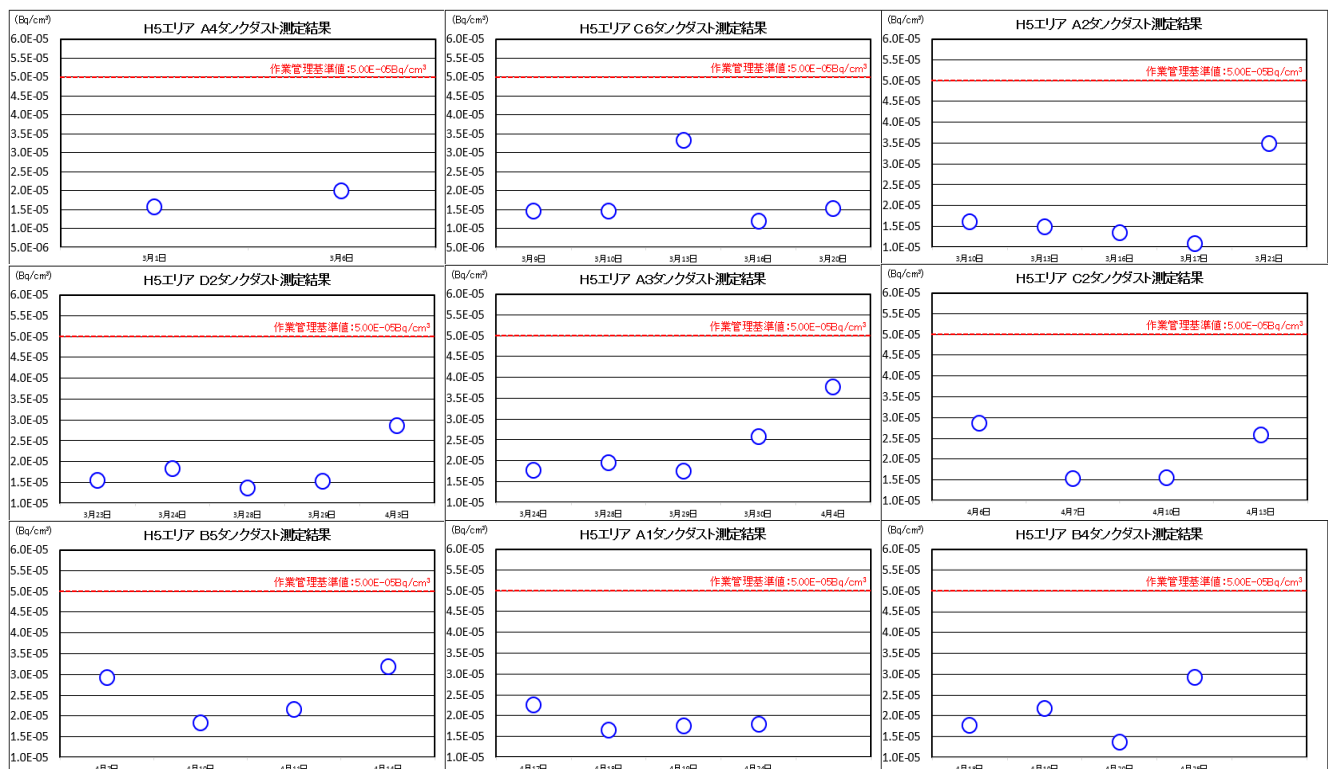


【3月から4月で解体したタンク(21基)における作業中のダスト測定結果】

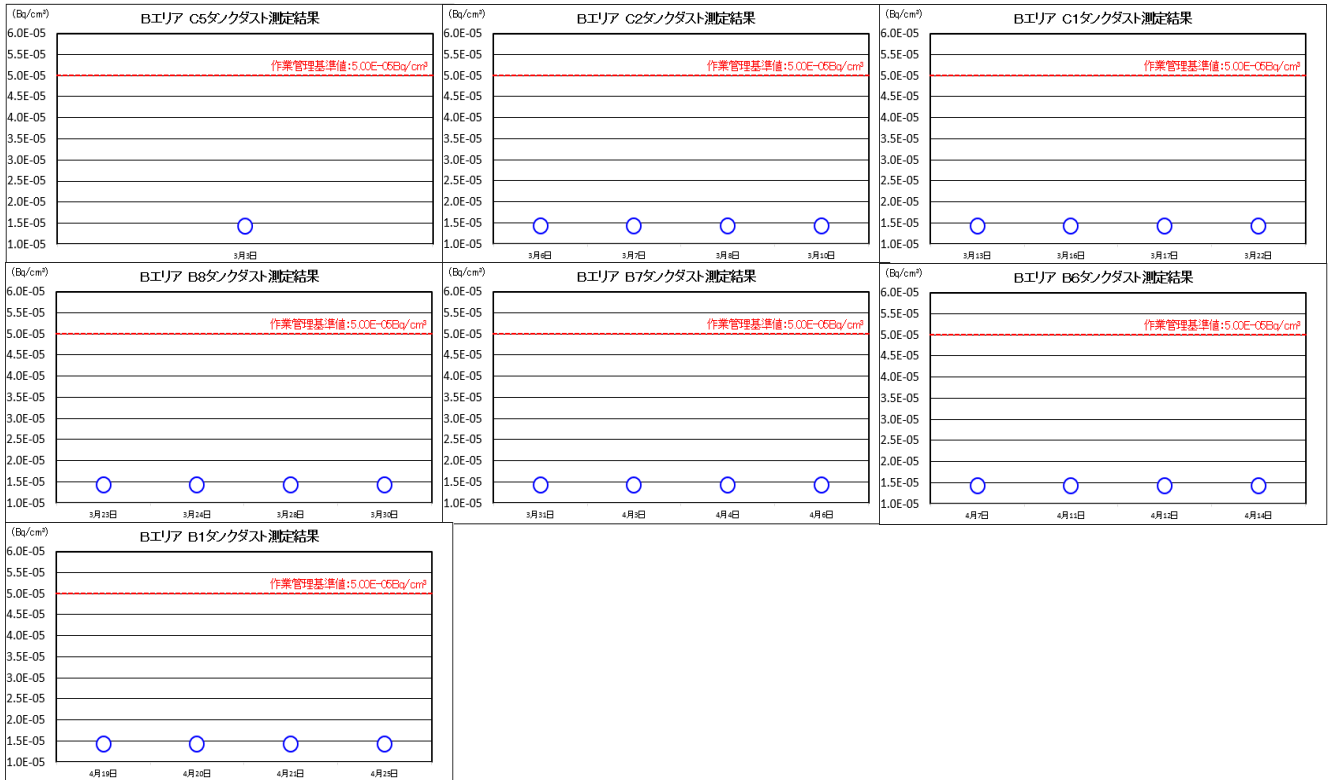
➢ H4エリアにて解体した5基全てのタンクにおいて作業管理基準値を超過する状況は無かった。



➢ H5エリアにて解体した9基全てのタンクにおいて作業管理基準値を超過する状況は無かった。



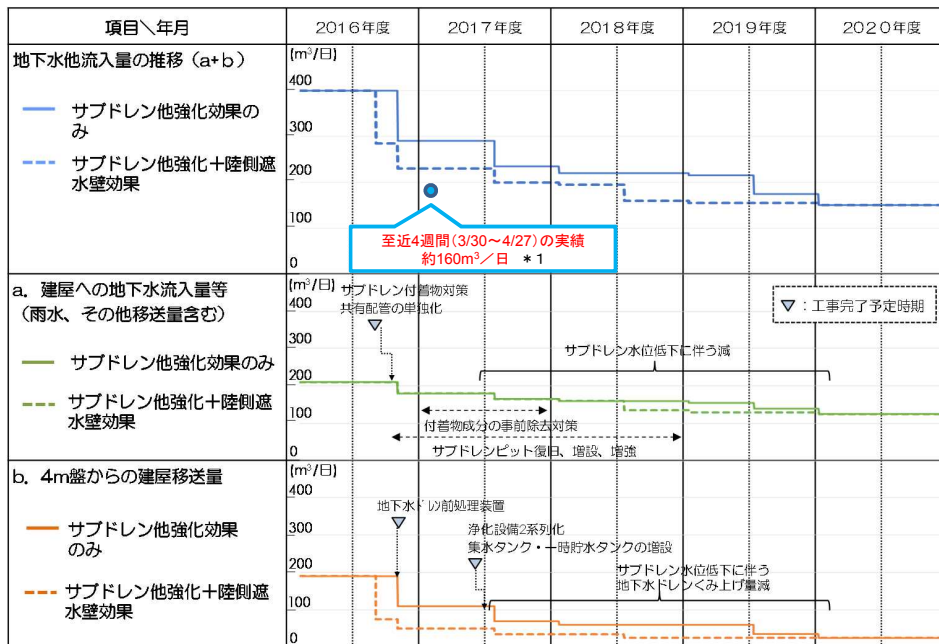
➤ Bエリアにて解体した7基全てのタンクにおいて作業管理基準値を超過する状況は無かった。



3-1. 水バランスシミュレーション前提条件 (地下水他流入量)

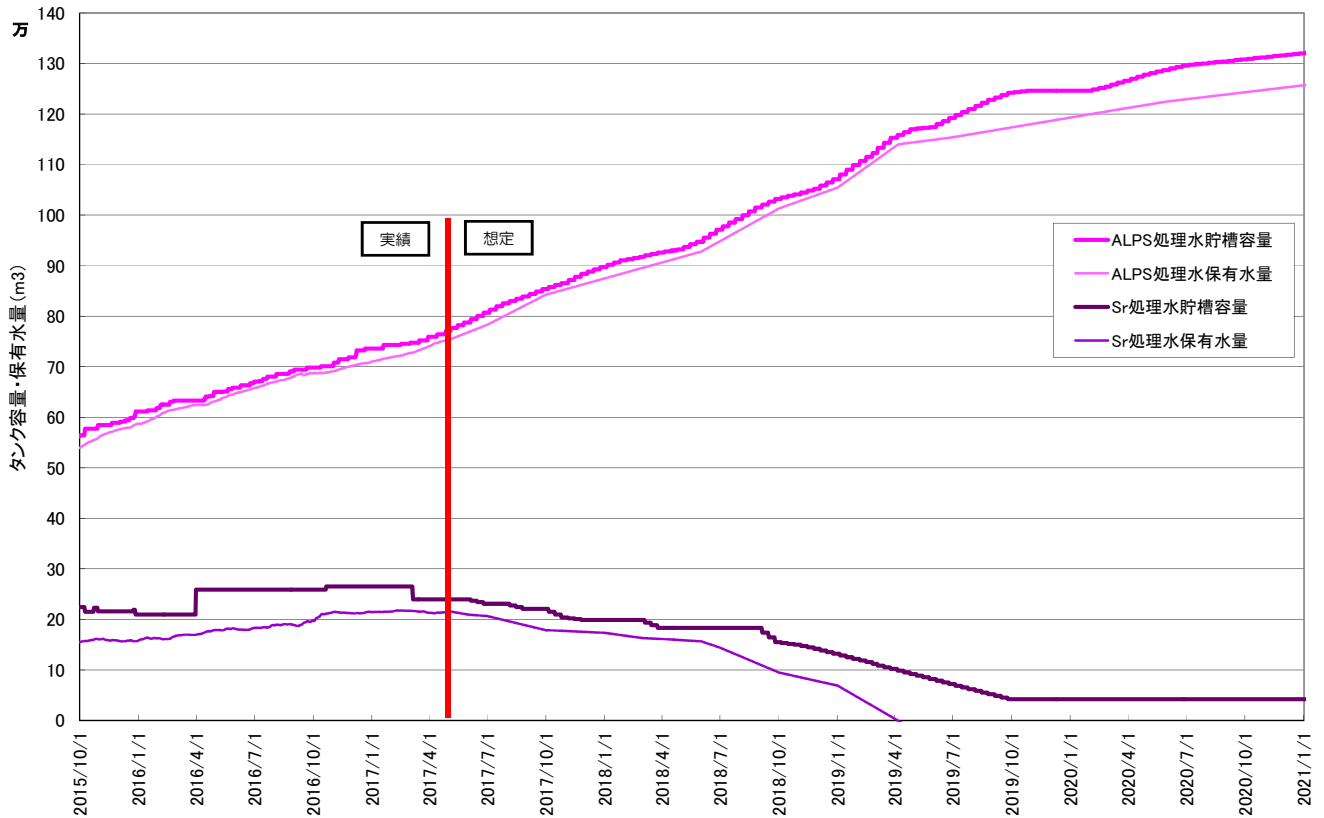
水バランスシミュレーションの前提条件

- サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース (下図の点線)
- サブドレンの効果のみを見込んだケース (下図の実線)



*1 集中RW建屋の貯蔵量算出に必要な水位に応じた断面積 (評価値) の不確かさによるものと推定 (評価中)

3-2. 水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）



3-3. 水バランスシミュレーション（サブドレン他強化の効果）

